

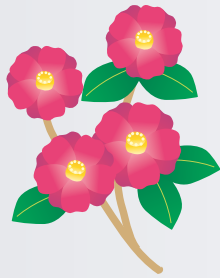
済生会は医療連携を通して、地域の診療所と共に皆様の健康をリレーします。

Baton

地域医療連携室だより

冬号
vol.71

平成27年1月1日発行



TOPICS

- P2 【巻頭言】
新年にあたり
- P3 紹介関連実績
- P4 登録医紹介 (関屋田町クリニック・金子医院)
- P6 職場探訪 (ニチイ学館・検診センター)
- P7 肝臓病セミナー開催報告
第15回肝臓病教室のお知らせ
- P8 インフォメーション

地域医療支援病院 臨床研修病院 地域がん診療連携拠点病院



済生会新潟第二病院・地域医療連携室

新潟市西区寺地280-7 TEL 025-233-6182 FAX 025-231-5763

<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>



新年にあたり

済生会新潟第二病院 院長 吉田 俊明

新年にあたり、ご挨拶を申し上げます。

2014年は今後の超高齢化社会に対応するために医療介護システムを再構築する第一歩の年となりました。益々膨れ上がる医療介護の費用を極力抑えつつ、現在の医療レベルを維持するという困難な課題に取り組まなければなりません。

2014年10月に病床機能報告制度が開始され、今後は地域医療ビジョンの策定が予定されています。その目的は効率的な地域完結型医療の再構築です。それぞれの医療機関が役割分担を明確にし連携を密にとり、患者さんにとって最良の治療を適切な施設で実施することが求められます。病院は急性期病床を減らし、回復期病床や療養病床を増やす方向に誘導されます。診療所の先生方はかかりつけ医として地域住民の健康管理について主導的立場で活躍するよう期待されます。患者さんは適切な時刻に適切な医療施設を受診するよう望まれます。国の方針は病院・施設の患者さんをできるだけ在宅医療に移行させることです。病院・診療所の努力のみで在宅医療を担うことは困難で、地域の歯科医師、薬剤

師、訪問看護師、介護士、ケアマネージャーなど多職種とネットワークを構築する必要があります。

済生会新潟第二病院は病診連携を進めて10年以上経過しました。これまでの経験をふまえ在宅医療を実践してくださる診療所の先生方を支援します。新潟市在宅医療連携拠点事業が2014年に開始され、当院もこの事業に参加しています。2015年からはITを用いた連携事業が開始される予定で、その運用について詰め作業をおこなっているところです。また、にいがた西区地域連携ネットワークを構築するため当院がその事務局機能を担っています。済生会新潟第二病院は新潟西地区の医療を支える重要な施設の一つとして貢献する所存ですので、今後ともご指導・ご協力

くださるようお願いいたします。

2015年が皆様にとって素晴らしい年となるようお祈りします。

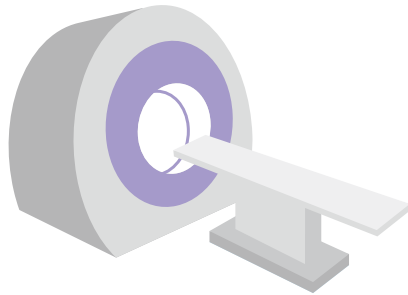


済生会新潟第二病院 紹介関連実績 (最新情報)

(平成25/12/1~26/11/30)

病院実績

1日患者数(外来)	949.0人
1日患者数(入院)	331.5人
初診患者数	14,103人
紹介状持参数	8,793人
紹介率	68.3%
逆紹介率	54.3%
平均在院日数	13.1日



地域医療連携室利用実績 ※(前年)

登録医数	416人(403)
オープンシステム紹介件数	
(外来受診・検査)	4,056件(3,881)
(新規入院患者)	2,335件(2,262)
手術(執刀)	80件(74)
(助手)	75件(90)
分娩	0件(5)
共同指導	111件(117)
逆紹介推進業務	772件(647)
セカンドオピニオン(相談・問い合わせ)	15件(14)
(実施)	8件(4)
医院訪問	230件(78)

地域連携パス実績

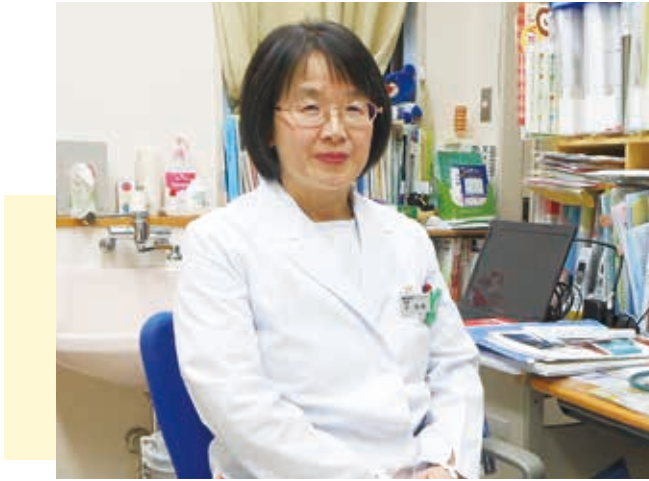
(新規適用件数)

※(前年)

がん地域連携パス (胃がん)	46件(31)
(大腸がん)	8件(20)
(乳がん)	1件(0)
(肝がん)	0件(2)
(肺がん)	0件(0)
肝疾患地域連携パス	11件(17)
糖尿病地域連携システム	24件(0)
糖尿病栄養指導地域連携パス	5件(13)
心不全パス	0件(0)



オープンシステム



関屋田町クリニック

神経内科・内科

はやし つねみ

林 恒美 先生

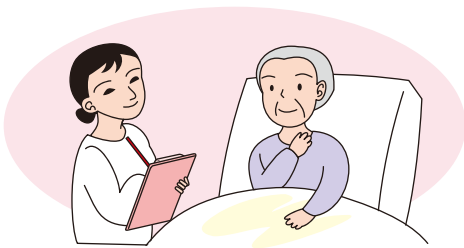
専門領域

神経内科・内科

医師・医院PR

平成21年1月から中央区で開業しております。糖尿病・高脂血症・高血圧症など内科的疾患や、脳梗塞・認知症・パーキンソン病・片頭痛など神経内科疾患の治療を行っております。水曜日の午後外来は、副院長である林浩司が、糖尿病専門外来を行っております。特定検診や予防接種などもお気軽に受診いただきたいと思います。

また、在宅支援診療所として、住宅型有料老人ホームサニーウイング関屋・サービス付き高齢者向け住宅サニーウイング鳥屋野に往診、訪問看護を行っております。入居中、早めの対応で病状悪化を予防しますが、対応困難の場合は、済生会の各担当医の先生にお願いし、大変お世話になっております。今後ともどうぞ宜しくお願いします。



関屋田町クリニック

神経内科・内科

〒951-8136

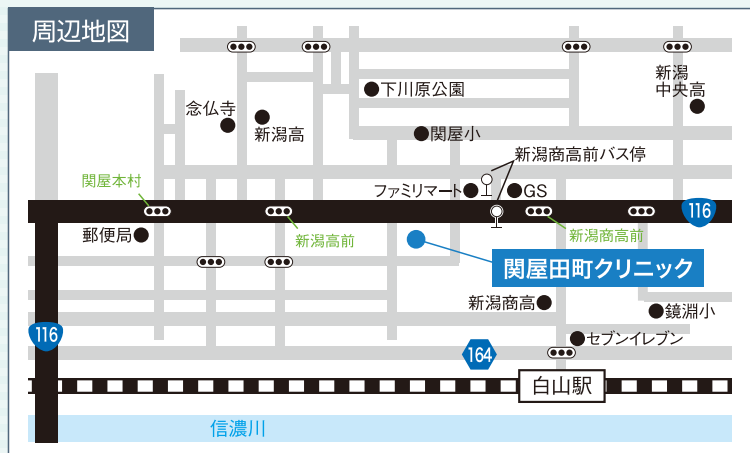
新潟市中央区関屋田町1-6-2

☎025-266-7722

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	×	○	○	○
15:00~18:00	○	○	○*	○	○	×

◎休診日／水午前、土曜午後、日曜祝祭日

*水曜日（林 浩司副院長診察）



登録医訪問

金子医院
内科

かねこ すすむ
金子 晋 先生



専門領域

内科・糖尿病 甲状腺

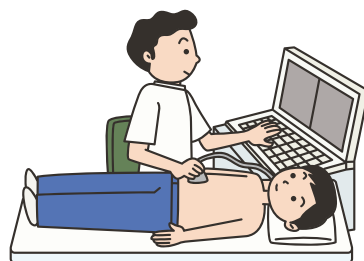
医師・医院PR

当院は新潟市西蒲区の旧岩室村にあり、周りを田園に囲まれ、待合室からは弥彦山を見ることができ、のどかな環境にあります。

さて私は糖尿病、内分泌(甲状腺など内分泌疾患)を専門としており、1型糖尿病やインスリン治療をされている患者さんが多く来院され、近年はドックで指摘された甲状腺腫などの方も来院し、超音波検査、細胞診も行っています。

この地区は高齢者が多いことから、退院後は在宅医療が必要となる方も多く、必要に応じ訪問診療も行っています。

済生会病院には地域拠点病院として病診連携で大変お世話になっており、これからも連携をとっていきたいと思いますので、この場をかりてお願いしたいと思います。



金子医院
内科

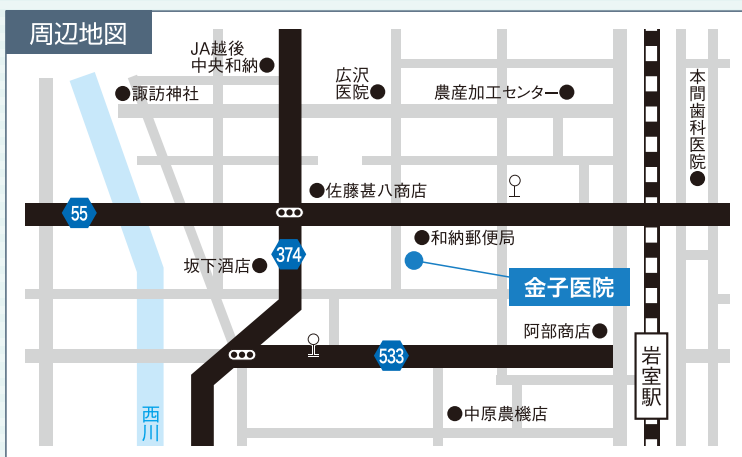
〒953-0125

新潟市西蒲区和納1-10-17

☎0256-82-3012

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30	○	×	○	○	○	×

◎休診日/火・土曜午後、日曜祝祭日





当院の部署を

職場探訪

紹介します!



職場探訪は、院内報MINDに毎月掲載しているコーナーです。地域のみなさんにも紹介させていただきます。

ニチイ学館

受付・会計・カルテ庫は、現在29名で業務を行なっております。

受付では、主に紹介状・検診の結果により受診される方、初診・再来の方の対応を行なっており、また、入院案内や書類受付・電話での診察の予約変更の業務も行なっています。

会計では、保険証の確認・診療にかかった医療費を計算し精算機へご案内しており、診療内容の問合せや、償還払いの手続きなども行なっております。

カルテ庫では、外来カルテを管理しており、当日診療を受付した患者さんのカルテ出しと、翌日予約のカルテの準備をしています。また、最終来院日から7ヶ月経過したカルテをインアクティブに変更する作業や、各部署から届けられた検査結果や文書を挟む作業も毎日行なっています。特にカルテのアリバイ管理や取り扱いについ



ては細心の注意を払い取り組んでおります。

このような忙しい業務を行なう中、患者さんの立場になって対応すること、親切・丁寧な接遇を心がけていきたいと思っております。

(ニチイ学館 大沢真紀子)

検診センター

検診センターはB棟2階の売店手前にあります。地域医療部に属し、スタッフは24名で、他に各診療科医師、検査科医師、歯科医師、看護師、検査技師、放射線科技師、視能訓練士など、合わせて総勢45名以上の多職種力が集積されて成り立っています。

主な仕事は、人間ドック(1日・1泊)ですが、その他に、新潟市各種がん検診、職場検診、協会けんぽ健診、特定健診、個人健診、当院職員健診とインフルエンザ予防接種、特定保健指導、抗体を持たない職員に対する予防接種、更生保護施設「新潟川岸寮」入寮者の健診など、多岐にわたります。

地域医療部長の本間照先生の下、いつもにこやかなセンター長の須田先生と穏やかでまとめ役の佐藤先生を中心に、看護部門はベテラン看護師が受診者さんの心に寄り添い検診を実施しています。生理検査室のスタッフは、午前中目の回るような忙しさの中でも笑顔と元気を絶やしません。特定保健指導は管理栄養士を中心に行っております。そして、検診センターの顔、受付では、ニチイ学館美人受付嬢が親切丁寧な対応で受診者さんをお迎えしています。また、バックヤードの事務室にはエキスパート事務員がそろっています。検診センターはチームワークがよく、安心・安全に、そして快適に過ごし



ただけのように、検査中はもちろんですが、健診フロアの環境整備や、健診着ひとつ、ロッカーひとつに目を配り、一丸となって日々の業務にあたっています。スキルアップなど教育面でも学会発表や各種認定を取得し、質の向上に努めています。

今後検診センターでは、日本総合健診医学会の優良総合健診施設の更新審査と日本人間ドック学会の実査及び機能評価受審という大きな実査が2つ控えています。関係各位みなさまにはお力をお借りすることになりますが、ご協力をお願いします。

また、職員健診は忙しすぎるあなたこそ、忘れずに受診してください。自身の健康が第一です。お待ちしております。

(検診課 中野亜紀子)



第4回 肝臓病セミナーを開催しました

平成26年11月8日(土)新潟ユニゾンプラザにて第4回目となる肝臓病セミナーを開催しました。このセミナーは市民の皆様へ、肝臓病について正しく理解して頂くことを目的に、毎年開催しています。

今回はテーマを「あなたとご家族が肝臓がんにならないように～進歩した肝臓の治療 肝臓がんは正しい知識で予防できます～」と題し、131名の市民の方にご参加頂きました。

吉田院長の開会の挨拶の後、医師、薬剤師、管理栄養士、看護師からそれぞれ専門分野で講義をし、会場横では後援の新潟県が希望者(検査を受けたことのない方限定)を対象に肝炎ウイルス検査を実施しました。

院内で行っている肝臓病教室より敷居も低く、病院まで足を運ばない方や肝機能の数値が気になる方、今まで特に肝臓を気にしたことがない方等、新規の方も気軽にご参加いただける内容だったかと思います。

肝臓は沈黙の臓器です。自覚症状もなく進行する恐れがあります。自分に関係ないと思わず、まずは肝臓病を知って頂き、ご家族やご友人、周りの方に検診を勧めて頂きたいと思えます。特に肝臓がんの最大の原因と考えられていたC型肝炎の治療は飛躍的に進歩し、いまや9割近くの方が治る時代になりました。積極的に治療をおこなうことで、肝臓がんが予防できます。

3月には院内で第15回肝臓病教室を予定しておりますので、リピーターの方はもちろん、初めての方もぜひご参加下さい。

最後に本セミナーを開催するにあたり、ご協力頂きました地域医療連携室他、スタッフの皆様、休日にも関わらずお手伝い頂いた関係者の皆様方にこの場を借り深く御礼申し上げます。

(肝臓病教室運営メンバー一同)

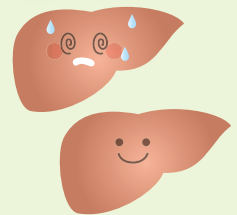


参加無料 第15回 肝臓病教室のお知らせ

テーマ

進化した肝臓治療

～肝臓がんにならないために～
慢性肝炎、肝硬変



日時

平成27年3月21日(土)
13:30～16:00

- 患者さん及び家族同士の意見交換会もあります
- 駐車料金は無料です

場所

済生会新潟第二病院
10階会議室

この教室は、患者さんに肝臓病について正しく理解していただくことを目的に開催いたします。病気に対する不安感を取りのぞいていただくためにもぜひご参加ください。ご家族の方もご参加いただけます。

当教室は事前のお申し込みが必要です。

お申込み・お問い合わせは、

済生会新潟第二病院 地域医療連携室 TEL:025-233-6182 (直通)

※(お願い)休日における院内の防犯の為、「時間外出入口」からお入り頂き、防災センターにて『入館証』を受け取ってください。

新規登録医紹介

医 院 名	診療標榜科目	住 所	登録医名
小児科廣川医院	小児科	新潟市東区若葉町1-20-8	廣川 徹
さかいファミリークリニック	内科・リウマチ科	燕市柳山777-1	坂井 勇仁
おぐま整形外科クリニック	整形外科	新潟市西区小新541	小熊雄二郎
さかい内科クリニック	循環器科	新潟市西区小新532	堺 勝之
ひろせ内科クリニック	内科・リウマチ科・腎臓内科	五泉市東本町2-9-6	廣瀬慎太郎

※H26年12月19日現在、登録医総数は416人です。

重要なお知らせ

泌尿器科外来は完全予約制になります

平成27年4月1日より泌尿器科外来は**完全予約制**になり、受診には地域の先生方からの事前の**紹介と予約**が必要となります。

※前立腺がん検診・人間ドック等の結果で、要精査等による泌尿器科外来への紹介受診につきましても、地域医療連携室にて予約をお取りしますので、どうぞご依頼下さい。

臨床検討会開催のお知らせ

第195回臨床検討会

- 日時● 平成27年2月24日(火) 19:00～
- 会場● 済生会新潟第二病院10F会議室
- 担当● 循環器内科担当

第196回臨床検討会

- 日時● 平成27年3月24日(火) 19:00～
- 会場● 済生会新潟第二病院10F会議室
- 担当● 皮膚科担当

連携医療機関のみなさま表紙を飾ってみませんか？

表紙を飾っていただける写真を募集しています。四季折々のご自慢の写真はありませんか？お問い合わせは、地域医療連携室までお願いいたします。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年はひつじ年。羊は群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。ところで、眠れないときに羊を数えるのは、イギリスが発祥だといわれているそうです。英語で羊のことを「sheep」といいますが、これが眠る意の「sleep」と似ているため、暗示をかける作用があるのだそうです。また、「sheep」の発音が寝息に似ているから、「sheep」と言って息をはく行為がリラックスできるから、などの説もあるとのこと。（…ということは、日本語で羊が1匹、羊が2匹では…！？）

皆様にとって今年が良い年でありますように。

(大澤 希美代)

